8. Embassy of the Philippines Case newspaper article - summary - translation

According to the morning edition dated February 20, 2015, such as the Yomiuri Shimbun, diplomats and officials of the Philippine Embassy reported criminal dispositions in violation of Immigration Control Act, it reported to the society as much as possible.

The content of the article stipulates that the driver of the Embassy of the Philippine Embassy falsely tries to hire his Philippines as a domestic employee, hands out a false employment contract to the Filipino, the Filipinos apply for immigration, Specific Activity "but did not work as a domestic employee and he worked in a landscaping company in Tokyo, it was decided that three people were charged for violating the Immigration Act (activities outside the status of qualification) and the embassy staff's operation Arrested and indicted his hands in June 2014 with criminal law "assistance crime" of violation of immigration law (activity outside the status of qualification).

In the trial it was sentenced to imprisonment with suspended sentence, and it was forcibly repatriated.

Based on the story of two of those who received a further conviction, apart from the driver, the status of residence based on documents such as employment contracts tied by the names of three men and women of diplomats and embassy officials Kanagawa Prefectural Police, in consultation with the National Police Agency, the Public Prosecutor's Office and the Ministry of Foreign Affairs, said that they need to be informed of the circumstances of the contract and the actual conditions of work, etc., through the Ministry of Foreign Affairs of the Embassy He asked for an interview, but since he answered that he returned home, he decided that the possibility of helping illegal work was higher and assisted three diplomats, who returned home shortly after offering, aided violation of the Immigration Bureau of the 6th this month I sent a document on charges.

○不法就労事件の構図

運転手 入管難民法違反 ほう助で有罪 判決・強制送還

14年7月帰国

14年11月帰国

14年11月帰国

※印は書類送検された |県警への取材に基づく

(46歳)

(52歳)

(35歳)

造園会社で不法就労

ン国籍で、大使館職員(運 たのは、いずれもフィリピ の説明によると、逮捕され

転手) の男(51)と、その弟

いずれも入管難民法違反で有罪判決・強制送還

2009年

13年2月

08年12月 13年2月

13年12月

都内の造園会社で

による不法就労が発覚した 大使館(本社へりから) 浜地検に書類送検した。 を同法違反ほう助容疑で横 県警は6日、外交官ら3人 て話を聞くため、外務省を 通じて大使館に面会を要請 警は、勤務実態などについ 交官らの知人や家族で、県 したが、外交官らは帰国。 外交官や大使館職員が日 不法就労していたのは外

本国内で家事使用人を雇う一になる。 ば、資格外活動 (不法就労) 定される。入管の許可を得官らの身の回りの世話に限 られる。入管難民法で認め 定活動」の在留資格が与え ずにそれ以外の仕事をすれ られた制度で、仕事は外交 に提出すれば、使用人に「特 請書類を日本の入国管理局

取材に対する捜査幹部ら

回らに「家事使用人」として雇われるなどしたフィリピ 違反(資格外活動)などの疑いで神奈川県警に逮捕され、 有罪判決を受けていたことが分かった。 だり、 就労を手助けしたりしていたとして、 入管難民法 ン人の男4人が、大使館と無関係の会社で不法に就労し 外交官ら3人書類送検 場合、雇用契約書を含む申

● 外交官 各国から派遣される外交使節団のうち、トップとなる大使や、外交関連の任務を担う職員の総称。受け入れ国から「外交」の在留 資格が与えられ、在留期間に制限はない。外交を やその家族らには、任務遂行や安全確保のだめ、 外交自 受け入れ国での不逮捕特権などがウィーン条約で 保障されている。このほか、特定業務に就く一部 の大使館職員にも、 同様の特権が与えられる。

ほう助含め 比人 4人有罪

在日フィリピン大使館(東京・六本木)の男性外交官

捕され、横浜地裁で懲役1 用された男3人(35~52 罪判決が確定。既に強制送 歳)。2014年6月に逮 年6月・執行猶予4年の有 年・執行猶予3年~懲役1

(46)ら家事使用人名目で雇

いか。

で働いていたと供述したと

で来日し、ずっと造園会社 は今月6日、不法就労を手

に大使館職員の親戚に頼ん 帰国したと回答した。県際 残る3人は申し入れ直後に 1人は7月時点で帰国し、 しかし、大使館側は翌月

のうち1人は、10年近く前 得て、12~14年の間、同じ や外交官名などで作成・提 けした。弟ら男3人は、兄 園会社での不法就労を手助 の書類を入管に提出、在留 日本で働くことを希望する 造園会社で働いていた。 出された書類で在留資格を 〜14年6月、東京都内の造 資格を取得させ、12年3月 **弟を家事使用人とする虚偽** 捜査幹部によると、3人 判決によると、運転手は、

日本アンテナ

警官が女児誘拐未遂容疑

群馬「パパが交通事故」と うそ

地域課巡査の秋山暢大容疑 を未成年者誘拐未遂容疑で 者(24)(群馬県渋川市金井) 発表によると、秋山容疑 群馬県警は18日、渋川署 う。事件当日は休みで私服 った」と供述しているとい た。秋山容疑者は「かわい かったので仲良くなりたか の両容疑者も同容疑で逮捕 岩好章(57)(同市大利根町) 川原町)、同社営業部長黒 社長の菅谷玄(71) (前橋市 工事会社「菅谷電気工事」

た。すぐに来てくれないか」| らしたとして、県警は18日、 |者(61)(渋川市村上)を官 同市副市長・飯塚寛巳容録 巡り、入札情報を業者に漏 官製談合容疑で逮捕 群馬・渋川副市長ら 群馬県渋川市発注工事を を妨害した疑い。同社は同 公開の最低制限価格を菅谷 理場の電気工事を巡り、非 者は2013年5月頃、 価格より2000円高い1 容疑者に教え、公正な入札 川市の北部学校給食共同調

故に遭って病院に運ばれ の自宅前で「パパが交通事

とうそを言って連れ去ろう

頃、同県内で、学校から帰 者は先月15日午後4時10分

ってきた小学4年女児(10)

省ルートで大使館側に4 から説明を受ける必要があ の名義で結ばれた雇用契約 と、運転手とは別の大使館 たうち2人が、外交官(42) るとして、昨年11月、外務 態などについて、この4人 察庁や検察庁、外務省と協 を得ていたことを確認。 職員の男女3人(49~88歳) との面会を申し入れた。 議し、契約の経緯や勤務実 などの書類を基に在留資格 県警は、有罪判決を受け 助けした疑いがより濃いと 野村不動産ホールディングス

野村不動産 野村不動産投資顧問 野村不動産アーバンネット

野村不動産パートナー

ジオ・アカマツ 野村不動産リフォーム

野村不動産グループ

プライムクロス

メガロス

NREG東芝不動産 横浜ビジネスパーク熱供給

関わった職員は、調査のた めマニラに帰還させた。調 け止めており、今回の件に して、申し入れ直後に帰国 は、「問題を大変深刻に受 フィリピン外務省の報道官 容疑で書類送検した。 した外交官ら3人につい 査は進展しているが、関係 読売新聞の取材に対し、 入管難民法違反ほう助

することはない」としてい

説明。大使館は「コメント

ることは差し控えたい」と に、現時点で詳細を公表す

者に予断を与えないよう 153か国のうち、 日本外務省によると、13

められたのは、アジア・ア 年時点で在日大使館を置く は最多の17人に上る。 フリカを中心に19か国・ 人。このうちフィリピン人 、同年1 61

塚容疑者らの認否を明らか 落札したという。県警は飯 していない。

関係競売入札妨害の両容疑 製談合防止法違反と公契約

また、前橋市の電気設備

とみて、周辺海域を捜索し 中に転落した可能性がある 日本の海洋実習船に乗って 治】米沿岸警備隊は17日、 いた日本人の男子生徒が海 ハワイ・カウアイ島沖で、 函館水産高実習生 ハワイ沖で不明 【ロサンゼルス=加藤腎

発表によると、飯塚容疑

渋

空券・ホテル予約 で簡単便利! ませんか? ! 全6コ

30日午後9時20分頃、八王子市のスーパー「ナハ王子スーパー3人射殺事件 1995年7月

へる捜査員 995年撮影)

億3850万3000円で

高校の「北鳳丸」で、同校 は北海道北斗市の函館水産 ていると発表した。実習船

も情報収集を進めている。

同隊によると、男子生徒

なくなっているという。 いるが、その後の点呼時に 内にいることが確認されて は同日午前2時5分頃に船 姿を見せず、行方がわから